

山 館

オンライン色紙展で支援

青木繁「海の幸」記念館

2月28日まで作品販売

館山市布良の青木繁「海の幸」記念館を支援する「青木繁『海の幸』オマージュ色紙展」がオンラインで開催されている。全国15人の美術家が15点の作品を寄せ、各1万円円で販売。購入金額は同記念館の管理運営の費用に充てられる。2月28日まで。

明治期を代表する画家、青木繁が国の重要文化財「海の幸」を描いたときに滞在した小谷家住宅。全国の画家、美術関係者らでつくる「NPO法人青木繁『海の幸』会」などの尽力もあり、平成28年に同記念館が開館した。

オマージュ色紙展は、解散した旧海の幸会の有志が、同記念館の管理運営費を支援する企画で、同年第1回を開催。第2回は、一昨年の台風被害とコロナ禍で延期されていたが、12月28日～2月28日の期間でオンライン開催されることになった。

青木繁の画友、坂本繁二郎に師事した版画家、故・秋山巖氏による「雪ふりしきる（山頭火）」、東北生活文化大学学長の佐藤一郎氏

による「櫻花」、女子美術大学名誉教授の吉武研司氏による「太陽」のように2019年など、全国15人の画家、美術家が色紙サイズで各1点の作品を寄せている。

記念館・小谷家住宅」のウェブサイトQRコードで公開。購入の申し込みは2月28日まで。希望者は、必要項目（氏名、住所、電話番号、メールアドレス）と第1～3希望の作家を記入して安房文化遺産フォーラムへメール (arabunka.npo@gmail.com) か、電話・ファクス(0470-22-8271) する。希望者が複数重なった場合は、抽選となる。



オンラインで開催されている展覧会